

介護職員初任者研修の研修カリキュラム

事業者名 株式会社インマイライフ

研修事業の名称 介護職員初任者研修

1 職務の理解（ 6 時間）			
項目名	時間数	（うち 実習時 間数）	講義内容及び演習の実施方法
(1) 多様なサービスの理解	3 時間	時間	<講義内容> ・多様なサービスと介護職の仕事 ・実際のサービス提供サービスの内容（講師の体験談他） <演習内容> 主催者法人の各施設のパンフレット等用い各施設の特徴や支援内容の説明等を行う
(2) 介護職の仕事の内容、働く現場の理解	3 時間	時間	<講義内容> ・講師による実際の施設等、仕事の内容 ・介護職の資格、キャリアアップ等の説明。 以上現職職員（介護福祉士講師による講義） <演習内容> グループワーク ・研修生の体験、介護業務に関わっている体験等を基に介護職の実際を考察する
合計	6 時間		
2 介護における尊厳の保持・自立支援（ 9 時間）			
項目名	時間数		講義内容及び演習の実施方法
(1) 人権と尊厳を支える介護	4 時間		<講義内容> ・人権と尊厳の保持・QOL とは ・ノーマライゼーションについて ・虐待防止、身体拘束、個人の権利等 上記項目、講師による講義 <演習> ・人権・ノーマライゼーション、QOL 等について グループワーク（テーマ：尊厳と QOL を考える）
(2) 自立に向けた介護	5 時間		<講義内容> ・自立支援とは ・介護予防 上記項目と自立支援介護の重要性を講師による講義 <演習> グループワーク（テーマ：自立を考える）
合計	9 時間		

3 介護の基本（ 6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	1.5時間	<講義内容> ・介護環境の特徴の理解 ・介護の専門性 ・介護にかかわる職種 上記項目、講師による講義
(2) 介護職の職業倫理	1.5時間	<講義内容> ・介護従事者の倫理 ・法令遵守 上記項目、講師による講義
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2時間	<講義内容> ・介護労働における安全の確保 ・事故予防・安全対策 ・感染対策 上記項目、講師による講義 <演習内容> グループワーク（介護事故等の意見交換）
(4) 介護職の安全	1時間	<講義内容> ・介護職員のこころの健康管理 ・介護職員のからだの健康管理 上記項目、講師による講義
合計	6時間	

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（ 9 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
(1) 介護保険制度	3 時間	<講義内容> ・ 介護保険制度創設の背景と目的 ・ 介護保険制度の動向 ・ 介護サービスの分類と種類 ・ 主な介護サービスの内容とサービス事業者・施設 ・ 保険給付以外の事業 上記項目、講師による講義
(2) 医療との連携とリハビリテーション	3 時間	<講義内容> ・ 介護における、医療と福祉の連携 ・ 介護職と医療行為 ・ リハビリテーション 上記項目、講師による講義
(3) 障害福祉制度及びその他の制度	3 時間	<講義内容> ・ 障害者自立支援制度の背景 ・ 障害者総合支援法に基づく総合的な支援制度 ・ 生活保護制度・生活困窮者自立支援法・成年後見人制度 ・ 日常生活自立支援事業 ・ 虐待防止制度 ・ その他の制度 上記項目、講師による講義 <演習内容> 研修生でグループワーク（制度について各制度理解とディスカッション）
合計	9 時間	

5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
(1) 介護におけるコミュニケーション	3時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーションの意義目的、役割 ・コミュニケーションの技法 ・道具を用いたコミュニケーション ・利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際 <p>上記項目、講師による講義</p> <p><演習内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義内容にもとづいたコミュニケーションを受講生によるロールプレイング（グループ分け）で実施する。
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	3時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録による情報の共有化 ・介護サービスにおける報告、連絡、相談 ・コミュニケーションを促す環境 <p>上記項目、講師による講義</p> <p><演習内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生のロールプレイング（チームコミュニケーション）を実施する
合計	6時間	
6 老化の理解（6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	3時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・老化に伴うこころとからだの変化 ・老化に伴うこころとからだの変化と日常生活 <p>上記項目、講師による講義</p> <p><演習内容></p> <p>研修生でグループワーク（老化と日常生活等ディスカッション）</p>
(2) 高齢者と健康	3時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と健康 ・高齢者に多い病気と日常生活上の留意点 <p>上記項目、講師による講義</p> <p><演習内容></p> <p>研修生でグループワーク（高齢者の健康、留意点等ディスカッション）</p>
合計	6時間	

7 認知症の理解 (6 時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
(1) 認知症を取り巻く状況	1 時間	<講義内容> ・ 認知症ケアの理念 上記項目、講師による講義
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5 時間	<講義内容> ・ 認知症の概念 ・ 認知症による障害 ・ 健康管理 上記項目、講師による講義
(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	1.5 時間	<講義内容> ・ 認知症の中核症状 ・ 行動・心理症状 ・ 認知症の利用者への対応 上記項目、講師による講義
(4) 家族への支援	2 時間	<講義内容> ・ 家族への支援 上記項目、講師による講義 <演習内容> 講師による認知症の具体例等でディスカッション実施。
合計	6 時間	
8 障害の理解 (3 時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
(1) 障害の基礎的理解	1 時間	<講義内容> ・ 障害の概念 ・ ICF の考え方 ・ 障害福祉の基本概念 上記項目、講師による講義
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1 時間	<講義内容> ・ 視覚障害・聴覚、平衡機能障害・音声、言語、咀嚼機能障害 ・ 肢体不自由・内部障害・障害の受容・知的障害・精神障害 ・ 高次脳機能障害・発達障害 上記項目、講師による講義

<p>(3) 家族の心理、かかわり 支援の理解</p>	<p>1 時間</p>	<p><講義内容> ・家族の心理 ・家族への支援</p> <p>上記項目、講師による講義</p> <p><演習内容> 障害についてグループに分かれてディスカッションする。</p>
<p>合計</p>	<p>3 時間</p>	

9 こころとからだのしくみと生活支援技術（75 時間）			
	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
基本知識の学習	(1) 介護の基本的な考え方	4 時間	<講義内容> ・理論と法的根拠に基づく介護 上記項目、講師による講義
	(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4 時間	<講義内容> ・学習と記憶の基礎的知識 ・感情と意欲の基礎的知識 ・自己概念と生きがい ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因 上記項目、講師による講義
	(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4 時間	<講義内容> ・人体の各部の名称と働きに関する基礎的知識 ・骨、関節、筋に関する基礎的知識 ・中枢神経系と体性神経に関する基礎的知識 ・自律神経と内部器官に関する基礎的知識 ・こころとからだを一体的にとらえる 上記項目、講師による講義
生活支援技術の講義・演習	(4) 生活と家事	5 時間	<講義内容> ・家事と生活の理解 ・家事援助に関する基礎的知識と生活支援 上記項目、講師による講義 <演習内容> 講義項目をグループに分かれ生活支援をロールプレイング等で実施する
	(5) 快適な居住環境整備と介護	5 時間	<講義内容> ・快適な居住環境に関する基礎知識 ・高齢者、障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法 上記項目、講師による講義 <演習内容> 実際の福祉用具を利用して理解する。

<p>(6) 整容に関連したところ とからだのしくみと自 立に向けた介護</p>	<p>7 時間</p>	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整容に関する基礎知識 ・整容の支援技術 <p>上記項目、講師による講義</p>
<p>(7) 移乗・移動に関連した ところとからだのしく みと自立に向けた介護</p>	<p>7 時間</p>	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移乗・移動に関する基礎知識 ・さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法 ・介護職にとって負担の少ない移動・移乗の支援方法 ・移動と社会参加の留意点と支援 <p><演習内容></p> <p>講師指導のもと福祉用具等を使用した介助等ロールプレイング等の実施をする</p>
<p>(8) 食事に関連したところ とからだのしくみと自 立に向けた介護</p>	<p>7 時間</p>	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事に関する基礎知識 ・食事環境の整備・食事に関連した用具、食器の活用方法と食事携帯とからだのしくみ ・楽しい食事を阻害するところの要因の理解と支援方法 ・食事と社会参加の留意点と支援 <p>上記項目、講師による講義</p> <p><演習内容></p> <p>講師指導のもと食事の介助等ロールプレイング等の実施を実施する</p>
<p>(9) 入浴、清潔保持に関連 したところとからだの しくみと自立に向けた 介護</p>	<p>7 時間</p>	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴、清潔保持に関する基礎知識 ・さまざまな入浴用具と整容用具の活用法 ・さまざまな入浴、清潔を保つための方法 ・楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援 <p>上記項目、講師による講義</p> <p><演習内容></p> <p>講師による実技指導及び研修生によるロールプレイング等の実施</p>

	(10) 排泄に関連したところ とからだのしくみと自立 に向けた介護	7 時間	<講義内容> ・排泄に関する基礎知識 ・さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法 ・爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 上記項目、講師による講義 <演習内容> 講師による実技指導及び研修生によるロールプレイング等の実施
	(11) 睡眠に関連したところと からだのしくみと自立 に向けた介護	7 時間	<講義内容> ・睡眠に関する基礎知識 ・さまざまな睡眠環境と用具の活用方法 ・快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 上記項目、講師による講義
	(12) 死にゆく人に関するところ とからだのしくみと終末期 介護	2 時間	<講義内容> ・終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ ・「死」に向き合うところの理解 ・苦痛の少ない死への支援 上記項目、講師による講義 <演習内容> 上記内容についてグループでディスカッションする。
生活 支援 技術 演習	(13) 介護過程の基礎的理解	5 時間	<講義内容> ・介護過程の展開 上記項目、講師による講義 <演習内容> ・介護過程についてのグループでのディスカッション実施。
	(14) 総合生活支援技術演習	4 時間	<講義内容> ・事例による展開 <演習内容> ・事例に基づいた要因の分析、課題の検討。
合計		75	
10 振り返り (6 時間)			
(1) 振り返り	2 時間	時間	<講義内容> ・研修を通じて学んだことの再確認。 ・根拠に基づく介護についての要点 ・継続的に学ぶべきこと 上記において、施設実習を行うことで就業への備えを行う。

(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2 時間	時間	<講義内容> ・日々継続して学習・研鑽する姿勢を持つこと。 ・介護職員として基本的な姿勢、日常的に自身を高める課題を持つ事。 上記において、講師による講義。
修了試験	1 時間	時間	
修了式・オリエンテーション	1 時間		
合計	6 時間		
全カリキュラム合計時間	132 時間		